

各位

上場会社名 和弘食品株式会社
 代表者 代表取締役社長 和山 明弘
 (コード番号 2813)
 問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 市川 敏裕
 (TEL 0134-62-0505)

業績予想の修正及び営業外収益(為替差益)の計上のお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正するとともに、平成27年3月期における営業外収益(為替差益)の計上についてお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,825	40	23	△84	△10.29
今回修正予想(B)	6,060	147	311	80	9.87
増減額(B-A)	235	107	288	164	
増減率(%)	4.0	267.9	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	5,533	104	177	79	9.72

平成27年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,775	206	104	12.72
今回修正予想(B)	6,055	514	283	34.68
増減額(B-A)	280	308	179	
増減率(%)	4.9	149.9	173.1	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	5,542	301	202	24.73

修正の理由

(連結・個別業績)

売上高につきましては、注力してきた外食・中食向け業務用製品の販売が好調に推移したことにより、予想を修正いたします。

利益面につきましては、売上高の増加及びコスト低減活動に伴う売上総利益の増加や円安進行による為替差益の実績を踏まえ、予想を修正いたします。

また、米国子会社の損益につきましては、概ね予想通りとなる見込みであります。

● 営業外収益(為替差益)の計上について

為替相場の変動により、平成27年3月期において、為替差益174百万円を営業外収益に計上する見込みです。なお、この金額は、主に当社が保有する外貨建債権の当期末為替レートによる評価替えで発生したものであります。

(注)上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

以上